



2025 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 日産自動車株式会社
代表者名 代表執行役社長兼最高経営責任者
イヴァン エスピノーサ
(コード番号 7201 東証プライム)
問合せ先 IR 部理事 ジュリアン クレル
(TEL 045-523-5523)

日産自動車、追浜工場の車両生産を日産自動車九州に統合へ

当社は、「日産自動車、追浜工場の車両生産を日産自動車九州に統合へ」を公表しました。詳細は、別添プレスリリースをご参照ください。

以 上

日産自動車、追浜工場の車両生産を日産自動車九州に統合へ

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：イバン エスピノーサ）は、経営再建計画 Re:Nissan で推進するグローバルな生産拠点の見直しの一環で、同社の追浜地区にある追浜工場（神奈川県横須賀市）における車両生産を 2027 年度末に終了すると発表しました。同工場での車両生産は、日産自動車九州株式会社（福岡県荻田町。以下、日産自動車九州）へ移管、統合し、現在、追浜工場で生産しているモデルや今後生産を開始するモデルは、日産自動車九州で生産する予定です。

今回の決定は、追浜地区の一部である追浜工場についてのものです。同地区にある総合研究所や GRANDRIVE、衝突試験場、追浜専用ふ頭など、その他のすべての機能については、今後も変更なく事業を継続していきます。

日産の CEO であるイヴァン エスピノーサは、「日産は本日、大きな決断をしました。私にとっても会社にとっても簡単な決断ではありませんでしたが、現状の課題を克服し、持続可能な未来を築くための重要な一歩だと信じています。追浜工場は日産の歴史の誇りであり、その伝統は永く受け継がれていくでしょう。この工場を支えてきた従業員や地域の皆さま、パートナーの皆さまに心から感謝申し上げます。私たちは今後も追浜地域での事業を継続し、地域社会へ貢献していきます。そして、追浜工場の精神を引き継ぎながら、日産本来の価値を取り戻すために取り組んでいきます」と語りました。

生産終了後の追浜工場については、今後、幅広い選択肢を検討し、最適な活用方法を決定します。また、追浜工場に勤務する従業員は、2027 年度末まで同工場での勤務を継続します。その後の雇用や勤務については、方針を決定し次第、従業員の皆さんにお知らせするとともに組合との協議を開始する予定です。

Re:Nissan で日産は、グローバルの生産能力を 350 万台（中国除き）から 250 万台に削減し、工場稼働率を 100%レベルに維持することを目指しています。その実現に向け、グローバルに生産拠点を 17 から 10 へ統合するための検討を進めています。

日本については、生産能力やコスト競争力、生産集約による新たな投資発生の有無などの観点から、追浜工場の車両生産を日産自動車九州へ移管し、統合することが、最も効果的であるという結論に至りました。本移管により、日本における生産コストを大幅に削減し、工場の競争力を高め、商品利益率の向上に貢献し、将来の成長につなげていきます。本件に関する費用は現在評価中であり、第 1 四半期決算発表時に開示する予定です。

追浜工場について：

追浜工場は 1961 年に操業を開始し、地域社会やパートナーの皆さまとともに発展してきました。これまでに累計で 1,780 万台以上を生産し、世界中のお客さまに日産車をお届けしてきました。同工場は 2027 年度末に車両生産を終了するまで、お客さまにご満足いただける高品質なクルマを生産し続けます。

住所：神奈川県横須賀市夏島町 1

操業開始時期： 1961 年 10 月

敷地面積： 547,606 m² （工場敷地のみ）

従業員数： 約 2,400 名

生産車種： ノート、ノートオーラ

主な歴史：

1961 年： 操業開始（ダットサンプルーバード生産開始）

1978 年： 生産累計 500 万台達成

1984 年： 追浜専用埠頭完成

1992 年： 生産累計 1,000 万台達成

2001 年： マーチ生産開始

2003 年： キューブ生産開始

2007 年： 「GRANDRIVE」を竣工、生産累計 1,500 万台達成

2010 年： 日産リーフ生産開始

2012 年： 2 ライン生産終了

2016 年： 初代ノート e-POWER 生産開始

2021 年： 現行ノートオーラ生産開始